

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イナリサーチ

コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中川賢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長

(氏名) 野竹文彦

TEL 0265-73-6647

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,181	3.2	△52	—	△62	—	△46	—
26年3月期第2四半期	1,144	△24.6	△93	—	△105	—	△15	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △30百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△15.48	—
26年3月期第2四半期	△5.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	3,949	—	1,742	—	42.5	559.92
26年3月期	4,185	—	1,791	—	41.4	577.40

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,679百万円 26年3月期 1,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	8.0	83	25.0	50	0.1	28	△60.5	9.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	2,998,800 株	26年3月期	2,998,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	2,998,800 株	26年3月期2Q	2,998,800 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において大手製薬企業では、薬価改定の影響と後発品使用促進策による長期収載品の利益創出力が弱まる中、研究開発体制を再編成し委託費用の圧縮と新薬開発のスピードを加速すべく新薬候補化合物(パイプライン)の臨床試験段階への絞り込みを継続しております。当社グループが主力とする非臨床試験市場では、こうした影響を受け厳しい経営環境が続いておりますが、昨年以來、新薬開発や再生医療への取り組みが大学や研究機関等で活発に進められ新たな顧客を形成しつつあります。

こうした中、新たな試験ノウハウの蓄積を図るべくマイクロCTスキャンの導入をはかり、すでに実績あるマーモセット毒性試験のさらなる研究や株式会社住化分析センターとの業務提携による微量採血・超高感度定量法の確立、また倉敷紡績株式会社との業務提携による遺伝子分析サービスでは多様の顧客から受注をいただいております。これらの研究は今後市場拡大が予想されるバイオ医薬品につながる分野であり継続して取り組んでまいります。また、再生医療の研究に有用な免疫寛容型カニクイザルについては、共同研究先である学校法人東海大学、国立大学法人滋賀医科大学及び学校法人慶應義塾大学との連携のもと事業化に向けた取り組みを進めており、この他にも複数の研究機関への実績を重ねております。

さらに社員教育に継続して取り組んでおります。これは信頼されるCRO(受託試験研究機関: Contract Research Organization 以下「CRO」と言います。)の根幹であるGLP体制の堅持に不可欠と考えるためであります。加えて創立40周年の節目を契機に、経営トップによる全社員との意見交換を実施し「10年ビジョン」策定に取り組んでおります。なお経営合理化につきましては、ことに燃料・電気料等の削減に努め業務の効率化を図っております。

このような状況のなか、主力の非臨床試験については、試験の進捗管理の強化の成果等により売上高・利益ともに前年同期実績を上回ることができましたが、委託者からの試験期間延長のお申し出により最終報告書の提出が第3四半期以降にずれ込む試験があり、計画には達しませんでした。臨床試験では、心電図解析試験が売上となりました。また、新規の試験が受注となり、その他試験実施に向けた問い合わせがあり具体的な協議を進めていることから堅調に推移しています。環境では、脱臭装置の設置工事及び空調・改修工事が売上となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,181,257千円(前年同四半期比3.2%増)、営業損失は52,870千円(前年同四半期は営業損失93,390千円)、経常損失は62,482千円(前年同四半期は経常損失105,011千円)、四半期純損失は46,424千円(前年同四半期は四半期純損失15,493千円)となりました。なお、前第2四半期連結累計期間において少数株主損失を計上しておりますが、これは連結子会社Inaphil, Incorporatedから優先配当を受けたことによるものです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,075,188千円(前年同四半期比2.5%増)、営業損失は48,063千円(前年同四半期は営業損失73,443千円)となりました。

② 臨床試験

売上高は45,090千円(前年同四半期比70.6%増)、営業損失は2,324千円(前年同四半期は営業損失19,783千円)となりました。

③ 環境

売上高は60,978千円(前年同四半期比12.1%減)、営業損失は2,482千円(前年同四半期は営業損失163千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は3,949,353千円となり、前連結会計年度末と比べ236,612千円減少しました。本減少は主に、売掛金の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少と、長期借入金返済に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債の部の残高は2,206,721千円となり、前連結会計年度末と比べ187,877千円減少しました。本減少は主に、短期借入金及び長期借入金の返済と、賞与支給に伴う賞与引当金の減少によるものであります。

純資産の部の残高は1,742,631千円となり、前連結会計年度末と比べ48,735千円減少しました。本減少は主に、剰余金の処分に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、現時点では計画通り進捗しており、平成26年8月12日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,920	294,440
受取手形及び売掛金	407,689	270,212
商品及び製品	1,617	2,698
仕掛品	538,342	587,739
原材料及び貯蔵品	184,093	189,310
その他	219,060	217,546
貸倒引当金	△176	△187
流動資産合計	1,770,548	1,561,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,533,778	3,551,369
減価償却累計額	△2,156,047	△2,214,961
建物及び構築物(純額)	1,377,731	1,336,407
土地	806,375	807,712
その他	987,405	1,031,859
減価償却累計額	△837,045	△856,148
その他(純額)	150,359	175,711
有形固定資産合計	2,334,466	2,319,832
無形固定資産	45,758	33,630
投資その他の資産		
その他	33,317	33,049
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	32,417	32,149
固定資産合計	2,412,642	2,385,612
繰延資産	2,774	1,981
資産合計	4,185,965	3,949,353
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	256,306	229,901
短期借入金	175,001	225,003
1年内返済予定の長期借入金	334,596	240,596
未払法人税等	26,890	5,243
前受金	500,776	566,002
賞与引当金	77,885	25,379
その他	232,633	222,276
流動負債合計	1,604,089	1,514,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
固定負債		
社債	60,000	30,000
長期借入金	588,275	508,477
退職給付に係る負債	4,517	5,122
その他	137,716	148,720
固定負債合計	790,509	692,319
負債合計	2,394,598	2,206,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	475,515	411,098
株主資本合計	1,761,395	1,696,978
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△27,876	△15,934
退職給付に係る調整累計額	△2,005	△1,927
その他の包括利益累計額合計	△29,881	△17,862
少数株主持分	59,852	63,515
純資産合計	1,791,366	1,742,631
負債純資産合計	4,185,965	3,949,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,144,483	1,181,257
売上原価	955,052	965,427
売上総利益	189,431	215,830
販売費及び一般管理費	282,822	268,700
営業損失(△)	△93,390	△52,870
営業外収益		
為替差益	—	2,108
受取賃貸料	4,364	4,306
その他	5,616	2,658
営業外収益合計	9,981	9,074
営業外費用		
支払利息	12,992	15,192
為替差損	4,294	—
その他	4,314	3,494
営業外費用合計	21,601	18,686
経常損失(△)	△105,011	△62,482
特別損失		
固定資産売却損	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△105,019	△62,482
法人税、住民税及び事業税	11,170	4,465
法人税等調整額	△45,215	△20,559
法人税等合計	△34,045	△16,093
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△70,973	△46,388
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△55,480	36
四半期純損失(△)	△15,493	△46,424

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△70,973	△46,388
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,743	15,568
退職給付に係る調整額	—	77
その他の包括利益合計	△1,743	15,645
四半期包括利益	△72,717	△30,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,300	△34,405
少数株主に係る四半期包括利益	△54,417	3,662

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△105,019	△62,482
減価償却費	107,390	103,507
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,083	△52,506
退職給付引当金の増減額(△は減少)	185	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	407
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△52,350	-
受取利息	△43	△58
支払利息	12,992	15,192
有形固定資産売却損益(△は益)	7	-
売上債権の増減額(△は増加)	82,256	138,576
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,751	△51,568
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,752	△27,305
前受金の増減額(△は減少)	32,956	65,226
その他	△2,832	6,465
小計	76,627	135,455
利息及び配当金の受取額	43	58
利息の支払額	△13,602	△15,120
法人税等の支払額	△12,268	△25,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,800	95,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	60,121	△63
有形固定資産の取得による支出	△4,536	△11,235
有形固定資産の売却による収入	3	-
その他	2,377	372
投資活動によるキャッシュ・フロー	57,965	△10,926
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	25,001	50,002
長期借入金の返済による支出	△163,688	△173,798
リース債務の返済による支出	△35,321	△38,787
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
配当金の支払額	△9,103	△17,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,111	△210,544
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,877	834
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△100,468	△125,512
現金及び現金同等物の期首残高	264,815	403,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	164,347	278,138

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,048,652	26,435	69,396	1,144,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,048,652	26,435	69,396	1,144,483
セグメント損失(△)	△73,443	△19,783	△163	△93,390

(注)セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,075,188	45,090	60,978	1,181,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,075,188	45,090	60,978	1,181,257
セグメント損失(△)	△48,063	△2,324	△2,482	△52,870

(注)セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。